

一般社団法人眞山舎（所在地：東京都）

事業名

「リカバリーの学校@くにたち」と共生ネットワークの創設

事業の趣旨・目的

- ・「**キョウドウを生きる暮らし**」を実現するために、しょうがいしゃと市民が地域で共につながる学びの場を共創する。
- ・学びのキーワードは、**対話（言語／非言語）**を通じた「**リカバリー**」と、「**キョウドウを生きる**」ための共生圏を地域に広げる「**回遊性／越境性**」。
- ・事業成果や研究成果を共有し、**教育と福祉の関係者のつながり**を生み、**地域の共生ネットワーク**づくりを推進。

事業実施体制・連携先

【実行団体】（一社）眞山舎；【連携】国立市公民館、bumpoー伴歩ー；【連携協議会】リカバリーの学校@くにたち学習者4名、一橋大学社会学研究科教授、国立市しょうがいしゃ支援課職員、国立市公民館社会教育主事、国立市社会福祉協議会CSW、ソーシャルワーカー；【協力】NPO法人ダイバーシティサッカー協会、合同会社&ante

主な対象

精神/知的/発達/その他（生きづらさの当事者/各種支援者等）

活動分野

学習/文化芸術/スポーツ/普及啓発/その他（交流等）

事業内容

○基盤的講座プログラム・当事者参画型プログラムによる「リカバリー」の学び

A) 基盤的講座プログラム

- ① リカバリーについて学ぶ連続講座「リカバリーの学校」（全7回）
- ②他者との関係づくりを学ぶ「共に学ぶ、関係性のレッスンー学びと実践の往還を巡る旅ー（仮称）」（全6回）
- ③スポーツ講座「ダイバーシティサッカー」で遊ぼう（仮称）」（3回）

B) 当事者参画型プログラム（スピナウト企画）

- ④参加者が思い・願いをかたちにする「共につくる自己表現と交わりのマナビ場」（5回～）

○誰もが「学習者」として参加する対話型の「共生社会コンファレンス」の開催

ゲストスピーカーによる講演、**研究協議**、及び【共同学習の学び体験】と【障害者の生涯学習支援を深める】2種類の分科会など、すべての「学習者」が問い・ふり返り・対話で終わるクロージング

* すべてのプログラムで障害の有無にとらわれない学びあいを目指す

事業終了後の目指す方向性

- ・行政機関、福祉関連機関／団体、および当事者を含む市民・NPO等、異なる主体がそれぞれに本事業の成果を中長期にわたり活かせるよう、事業全体を分解し、分散させていく道筋を見出す
- ・上記実現のために、教育・福祉の連携にとどまらず、障害者の生涯学習機会の継続・創出のため市民活動支援の関連機関／団体と連携強化

その他

一般社団法人眞山舎ホームページ



リカバリーの学校@くにたち特設サイト

